

# CASBEE<sup>®</sup>新潟 | 評価結果 |



■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2008年版  
 ■使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.1.3)

1. 建物概要					
建物名称	(仮称)マルハン新潟松島店新築		<p>表層・立上り(黒)                      透明ガラス16mmノ上乳白シート超断熱ED断熱                      アルミ製カーテンウォール(SUSMカバー付)</p>		
建設地	東区 松島3丁目4-12,-13,-17,-18,-19				
用途地域	工業地域、法第22条				
建物用途	集会所				
竣工年	2013年7月 予定				
敷地面積	19,834.80 m <sup>2</sup>				
建築面積	3,757.62 m <sup>2</sup>				
延床面積	3,570.01 m <sup>2</sup>				
階数	地上1F				
構造	S造				
評価の段階	実施設計段階評価				
評価の実施日	2013年5月13日				
2. CASBEE新潟の評価結果					
<p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★ C: ★</p>			B+	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{42}{40} = 1.0$	
3. 新潟市の重点項目の評価					
1. 長寿命化の取組み 誰もがずっと安心して生活するために	平均スコア 3.8		バリアフリー	Q2.1.1.3	4.0
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産、思い出を守るために	平均スコア 3.1		維持管理	Q2.1.3	4.5
			更新性	Q2.3.3	3.0
3. 大雨への取組み 大雨につよいまちづくりのために	平均スコア 3.0		耐震・免震	Q2.2.1	3.0
			信頼性	Q2.2.4	3.2
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	平均スコア 3.0		雨水排水負荷低減	LR3.2.3.1	3.0
			建物の熱負荷抑制	LR1.1	3.0
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	平均スコア 4.0		自然エネルギー利用	LR1.2	3.0
			節水	LR2.1.1	4.0
			リサイクル材の使用	LR2.2.4	3.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな田園空間を次世代に引き継ぐために	平均スコア 2.0		再利用可能性向上	LR2.2.6	5.0
			生物環境の保全・創出	Q3.1	1.0
			敷地内温熱環境の向上	Q3.3.2	3.0
7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の魅力を伝承・創造していくために	平均スコア 2.0		まちなみ・景観への配慮	Q3.2	2.0
			地域性への配慮、快適性の向上	Q3.3.1	2.0
4. 新潟市の重点項目の配慮事項					
非構造材料におけるリサイクル材の使用や、省水型機器の採用で節水に努めた。					

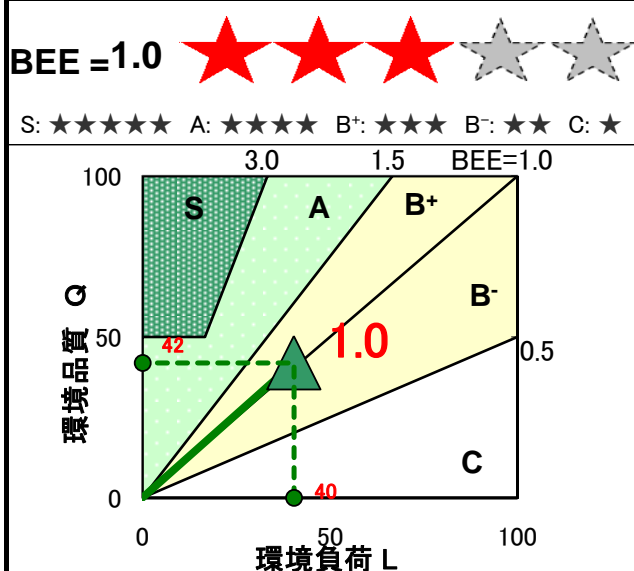
■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

# CASBEE®新潟

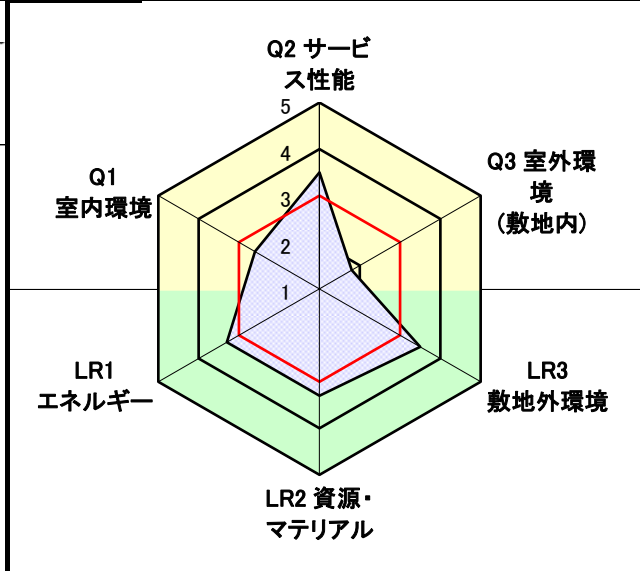
# 評価結果内訳

■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2008年版 使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.1.3)

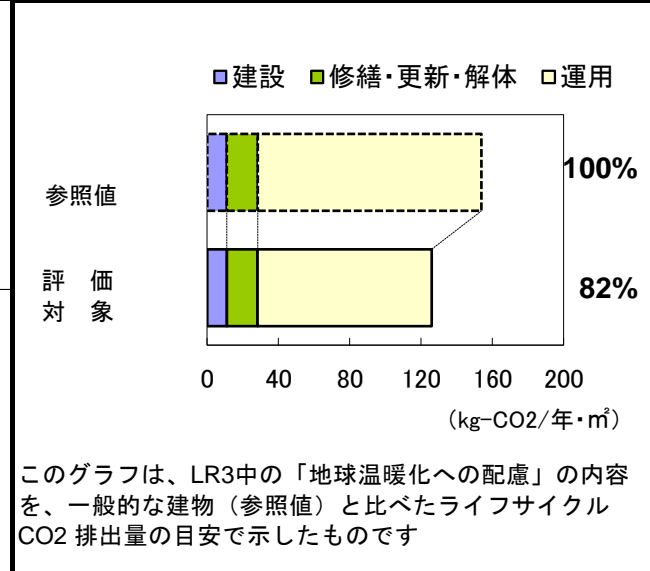
## 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



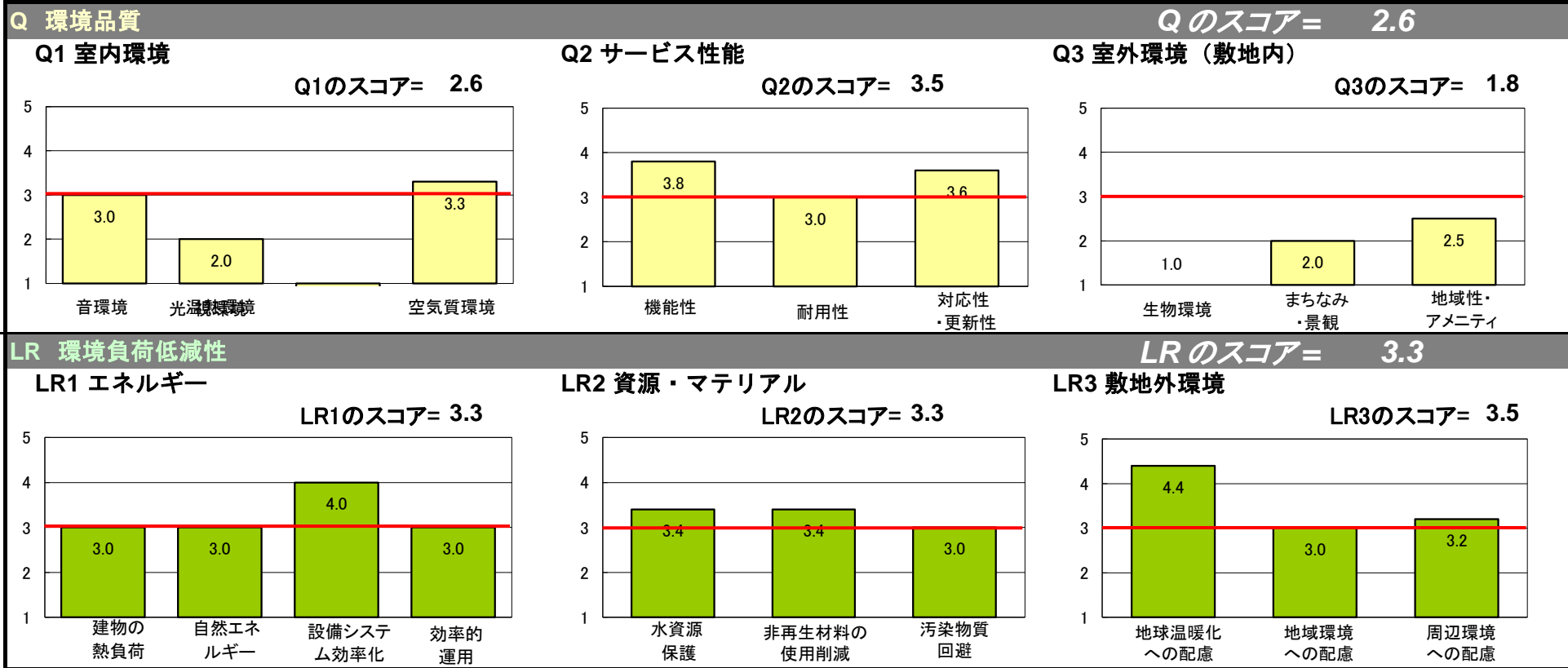
## 2-2 大項目の評価(レーダーチャート)



## 2-3 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)



## 2-4 中項目の評価(バーチャート)



## 2-5 設計上の配慮事項

総合		その他
メイン道路や直近の住居より離隔され平屋建てで周辺環境に圧迫感が無いよう融和するよう配慮した。		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
快適な空間となるように省エネ性の高い空調を理想的に配置し必要換気量を満足した快適な空間づくりとした。	設備の更新性に配慮した。	周辺のまちなみとの調和を考えた。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
エネルギー効率の高い空調機器の採用やLED照明にしたことで省エネ性の高い建物とした。	分別が容易に行えるよう配慮した資材を選定した。	適切な量の自転車置場・駐車スペースを確保している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される